

和歌山県内経済情勢報告

(令和7年7月判断)

1. 総論

【総括判断】「持ち直している」(判断を据え置き)

項 目	前回 (7年4月判断)	今回 (7年7月判断)	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

(注) 令和7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にあるほか、雇用情勢は、緩やかに持ち直しているなど、全体としては、持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回 (7年4月判断)	今回 (7年7月判断)	前回 比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を下回る見込み	↘
企業収益	6年度は減益見込み	7年度は増益見込み	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、インバウンド需要の減少により身の回り品の売上げが減少しているものの、値上げの影響で客単価が上昇していることから、飲食料品の売上げが増加している。

コンビニエンスストア販売は、価格上昇の影響に伴い売上げが増加している。

ドラッグストア販売は、物価高の影響で買い控えがみられるものの、季節商品の売上げが増加していることから堅調に推移している。

家電大型専門店販売は、補助金の影響で一部店舗においてエアコンや冷蔵庫の売上げが増加したほか、販売価格の引上げの影響もあり、前年の売上げを上回っている。

乗用車の新車登録届出台数は、普通車・小型車、軽自動車ともに前年を上回っている。

観光動向は、県内主要観光地において、引き続き外国人観光客数が増加しているほか、一部観光地において国内観光客数も増加しており、持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 買上げ点数は減少しているものの、物価高の影響で客単価や1点単価が上昇していることから、売上げは前年を上回る状況が続いている。（百貨店・スーパー）
- 前年と比較すると円高水準となっていることから、身の回り品においてインバウンドの売上げが減少している。（百貨店・スーパー）
- 日用品や食料品を中心に販売価格が上昇していることから売上げは増加している。今年は梅雨明けが早かったことから、季節商品が例年より前倒しでよく売れている。（ドラッグストア）
- 補助金の影響で省エネ製品のエアコンや冷蔵庫の売上げが前年を上回っていたほか、6月以降は気温上昇に伴い、エアコンや扇風機の需要が伸びてきている。（家電量販店）
- 部品供給不足による納期遅れではなく、受注後速やかに登録できている。（自動車販売店）
- ジャイアントパンダ返還の報道を受け、旅館やホテルの予約状況が好調となっており、お盆のピーク時と同程度の盛況ぶりとなっていたほか、日帰りの観光客も多く訪れており、町に活気があふれていた。（観光関係団体）

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

鉱工業生産指数でみると、「化学工業」などは上昇しているものの、「機械工業」などは低下している。

企業からは、米国関税措置が生産量に影響し始めているとの声が聞かれており、生産活動は、足踏みの状況にある。

（主なヒアリング結果）

- 中国の内需は引き続き低調となっており、売上げは横ばいで停滞している。また、一部の地域では、米国関税措置の影響で設備投資を保留する取引先もみられる。（生産用機械）
- 国内向けについて、前期において新型機種と比較して安価となる旧型機種の駆込み需要があり、その反動もあって生産量が減少している。（はん用機械）
- ハンドソープなどの生産量は減少しているものの、衣料用洗剤の生産量が増加しているほか、製品改良に伴って柔軟剤の需要が好調となっていることなどから、全体として生産量は増加している。（化学）
- 海外で過剰に生産された鋼材が流入していることから収益環境が悪化していることに加え、汎用品や自動車関連製品では米国関税措置が徐々に生産量に影響し始めている。他方で、エネルギー関連製品については、米国関税措置の影響をあまり受けておらず、堅調となっている。（鉄鋼）

■ 雇 用 情 勢 「緩やかに持ち直している」

新規求人数は、増加しているほか、有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 「建設業」について、建設コストの上昇による利益の圧迫を受けて、求人を出すのを見送っている企業も一部あるものの、引き続き人手不足感が強い状況が続いていることに加え、新規設備の開業に伴って大口の求人を出した企業もあったことから、前年と比較して新規求人数が増加している。(公的機関)
- 業界全体で技術者不足の声が聞かれている中、当社においても、製品開発を行うにあたり、設計、品質管理、試験などの業務を担当する技術者が不足している。(はん用機械)
- オペレーターやエンジニアを中心に人員が不足しており、民間の求人サイトを利用して中途採用を行っている。応募は一定数あり採用も進んでいるが、充足はしていない。(化学)
- 来店客数が増加する時間帯に従業員を増やしたいが、子育て世代の従業員も多く、シフト調整に苦労している。(小売)
- 整備部門において慢性的に不足しているほか、営業部門でも退職者が数名おり、若年層を中心に不足している。(自動車販売店)
- ホテルや旅館といった宿泊業は依然として人手不足感の強い業種ではあるものの、一部の宿泊施設では観光地に特化した人材マッチングサービスの活用により、人材不足解消の兆しが見え始めている。(公共団体)

■ 設 備 投 資 「7 年度は前年度を下回る見込み」

法人企業景気予測調査（令和 7 年 4-6 月期調査）でみると、7 年度の設備投資は、全産業で前年度を下回る見込みとなっている。産業別では、製造業で前年度を上回る見込みとなっているものの、非製造業で前年度を下回る見込みとなっている。

■ 企 業 収 益 「7 年度は増益見込み」

法人企業景気予測調査（令和 7 年 4-6 月期調査）でみると、7 年度の経常利益は、全産業で増益見込みとなっている。産業別では、製造業で黒字転化見込み、非製造業で増益見込みとなっている。

【その他の項目】

■ 住 宅 建 設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数（3 ヶ月後方移動平均値）でみると、前年を下回っている。内訳でみると、持家、貸家、分譲すべてで前年を下回っている。

■ 公 共 事 業 「前年を上回っている」

前払金保証請負金額（年度累計額）でみると、前年を上回っている。内訳でみると、県で前年を下回っているものの、国、市町村、独立行政法人等で前年を上回っている。

■ 企 業 倒 産 「倒産件数、負債総額ともに前年を下回っている」

倒産件数、負債総額ともに前年を下回っている。

■ 景 況 判 断 「「下降」超となっている」

法人企業景気予測調査（令和 7 年 4-6 月期調査）の景況判断 BSI でみると、全産業で「下降」超となっている。

産業別では、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

規模別では、中堅企業で「上昇」超となっているものの、大企業、中小企業で「下降」超となっている。